



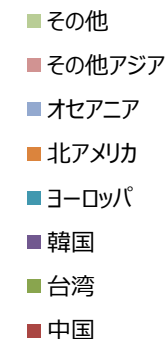
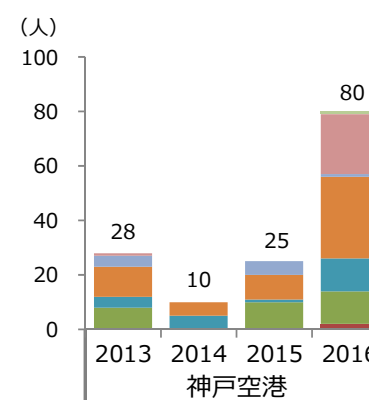
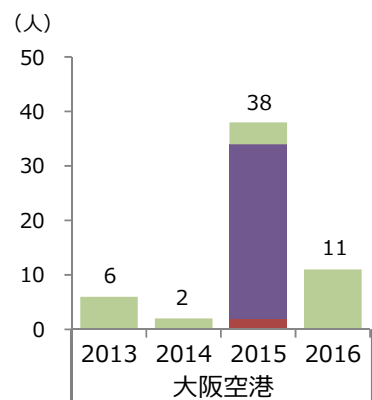
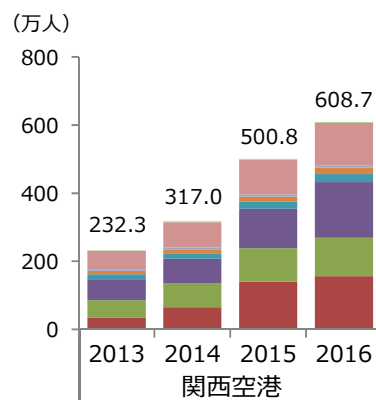
# 「数字で見る海の京都観光圏のインバウンド」



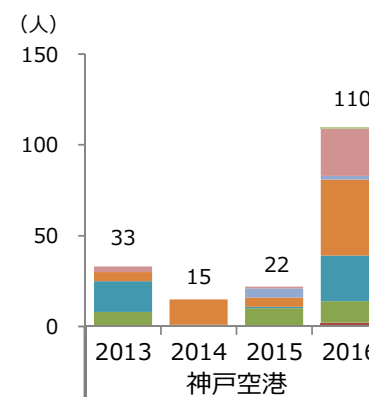
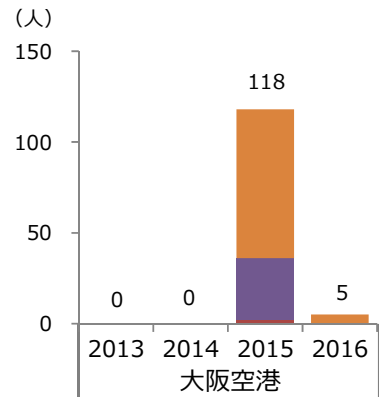
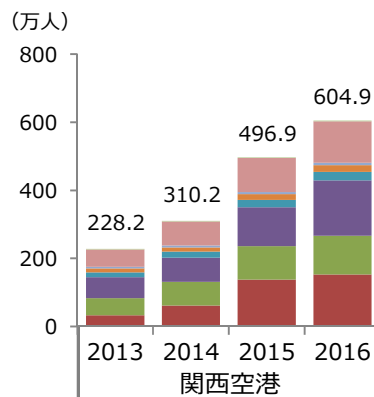
## 空港別／国・地域別訪日旅行者数（1）

- ◆ 海の京都観光圏につながる玄関口としての空港は、関西空港に加え、比較的近隣に位置する地方空港として大阪空港と神戸空港がある。
- ◆ 関西空港はここ4年間一貫して入国者・出国者ともに増加している。大阪空港は入出国者ともに数は少ないが、2015年の出国者は100人を超えた。神戸空港は2016年に入出国者ともに100人前後となった。
- ◆ 関西空港は世界中から幅広く来ている。大阪空港は2015年に入国者で韓国、出国者で北アメリカと韓国が多かった。神戸空港は北アメリカ、その他アジア、ヨーロッパ、台湾が多い。

### 空港別 国・地域別入国者数

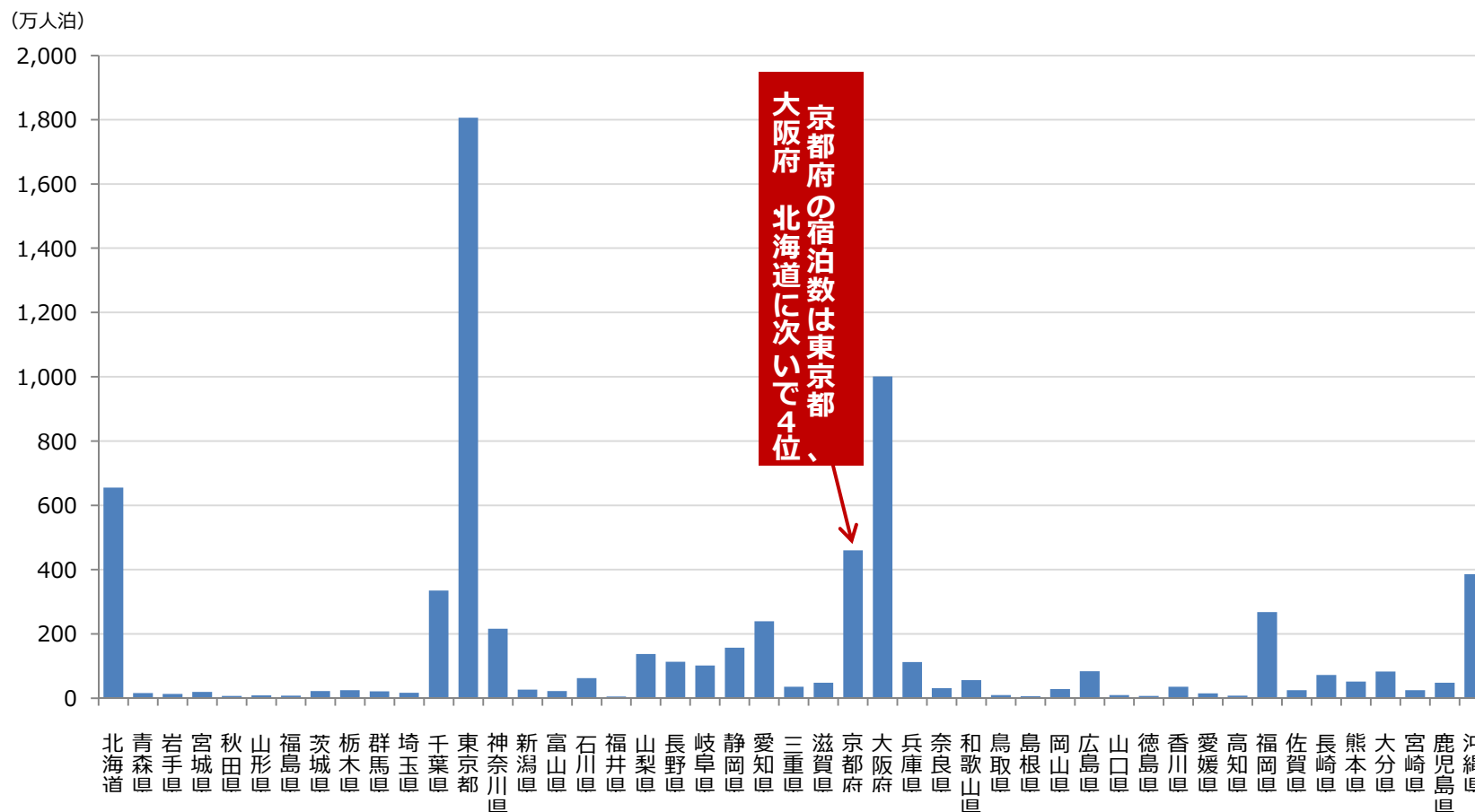


### 空港別 国・地域別出国者数



## 県別外国人宿泊数

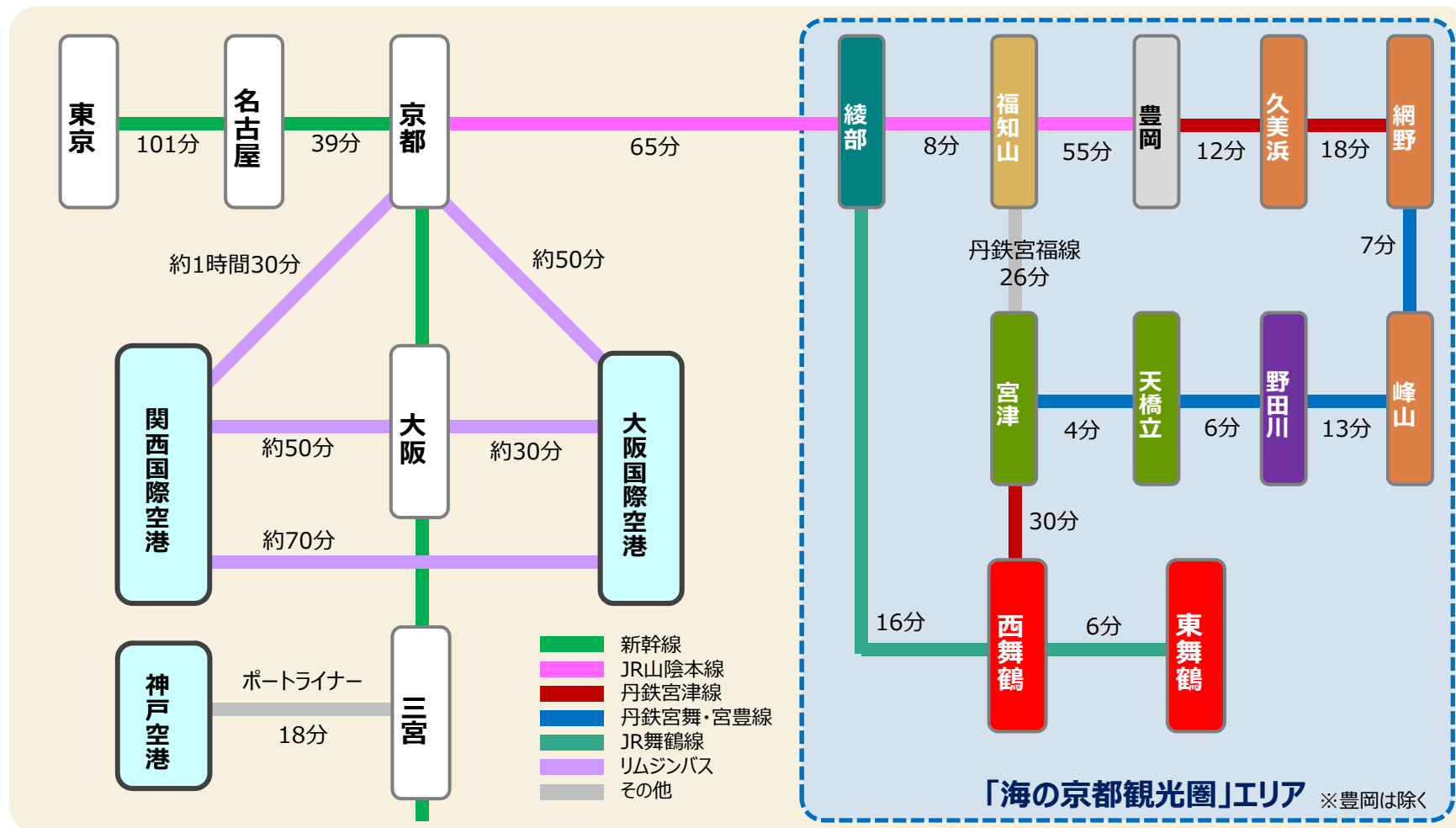
◆ 京都府の外国人宿泊者数は約450万人泊であり、東京、大阪、北海道に次いで4位となっている。



※2016年 延宿泊者数（1人が2泊した場合2人とカウント）

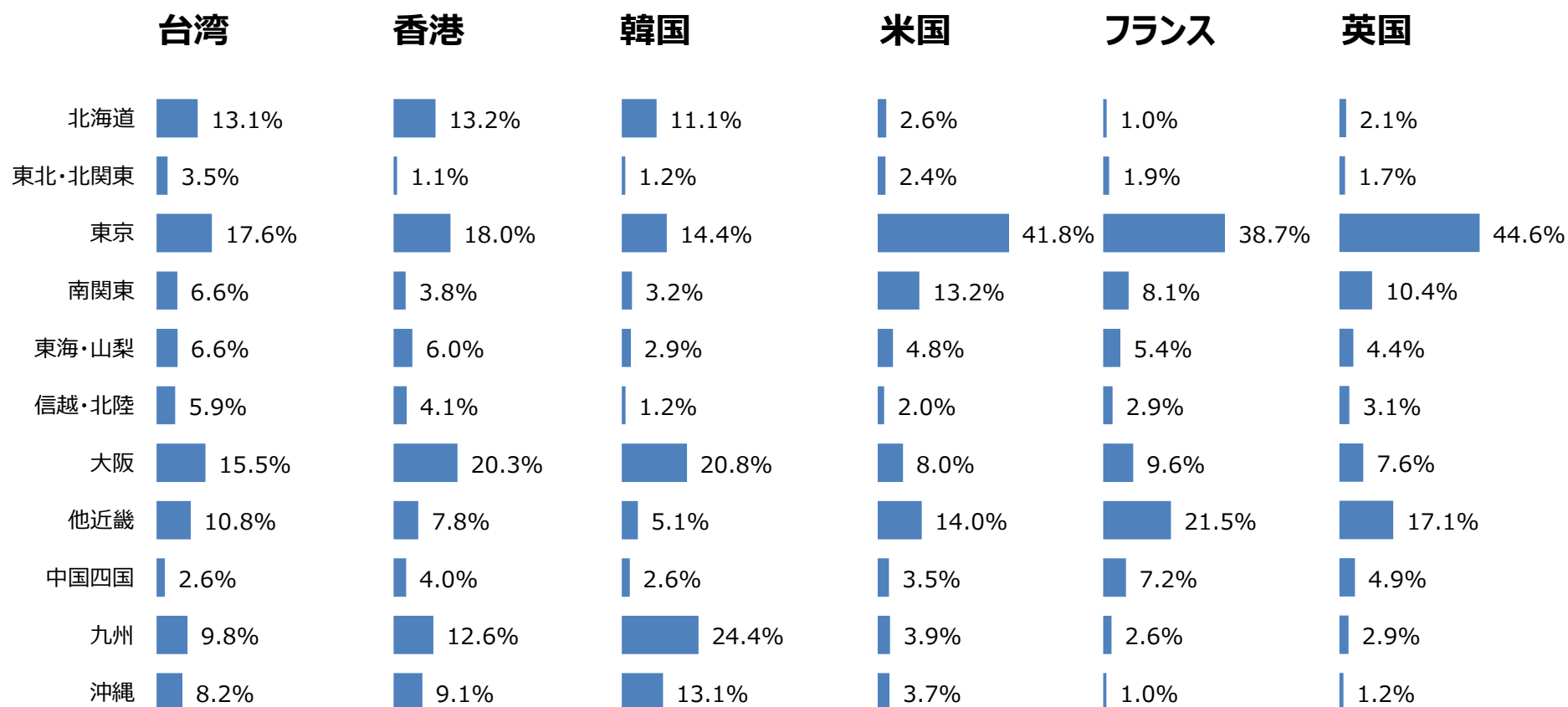
## 海の京都観光圏の誘客ルート

- ◆ 「海の京都観光圏」エリアへの主なインバウンド客の誘客ルートとしては、東京・名古屋方面から新幹線によるもの、関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港などから大阪・京都経由でのルートが考えられる。



## 主な国籍別にみた外国人の宿泊地の分布

- ◆ 海の京都観光圏に来訪していると考えられる主な国籍の旅行者の宿泊地分布をみると、台湾と香港は分散傾向が強く（リピーターが多いため）、韓国は西日本に偏在している（近距離性）。米国、フランス、英国はいずれも東京が4割前後を占め、次いで「他近畿」となっている。

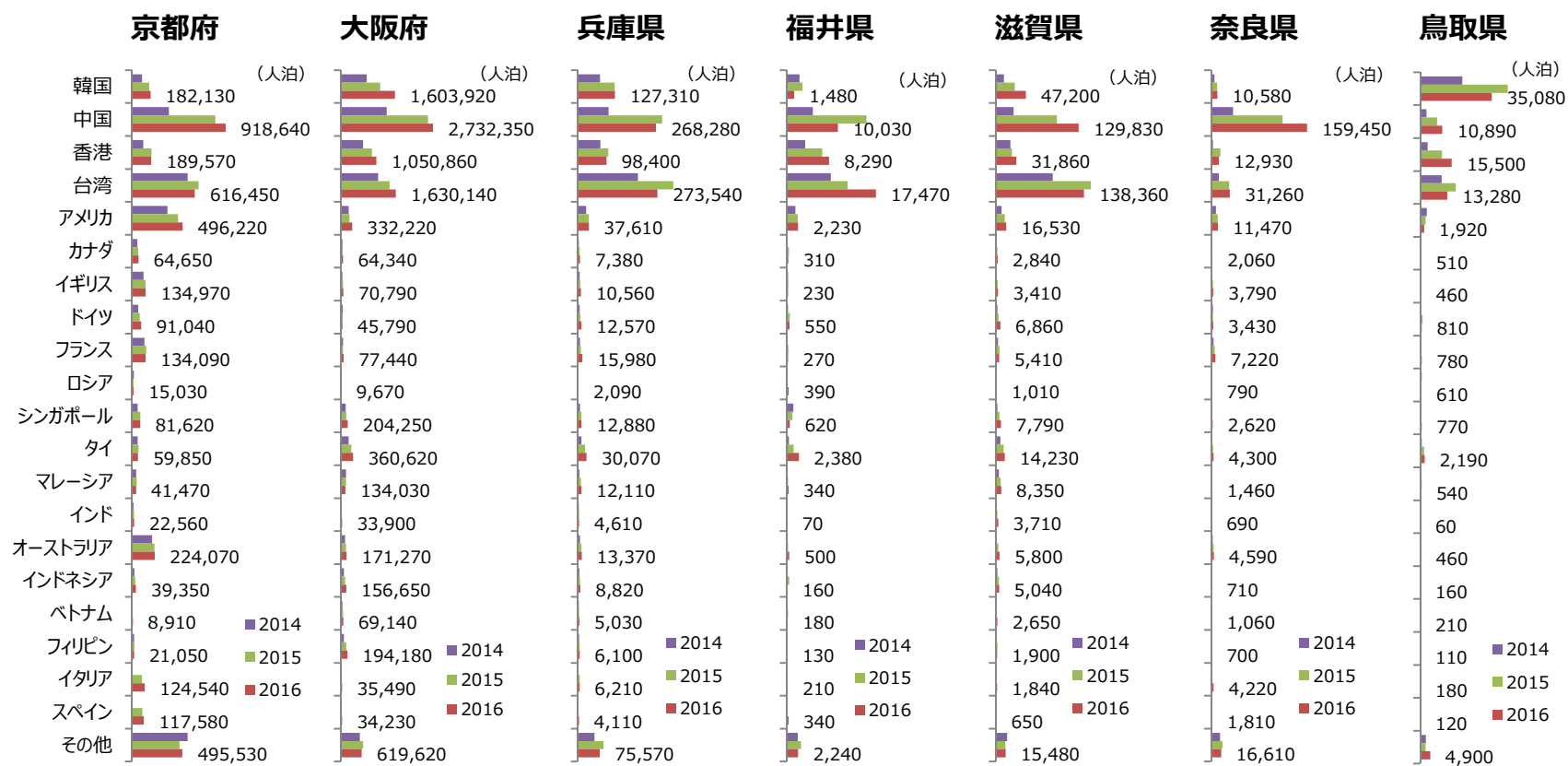


※2015年11月～2016年10月の数値

## 京都府及び近隣府県のインバウンド概況（1）

- ◆ 京都府内の宿泊施設に2016年に宿泊した外国人の国籍は、中国が91万9千人泊で最も多く、台湾が61万6千人泊、アメリカが49万6千人泊、オーストラリアが22万4千人泊で続く。
- ◆ 中国とアメリカは2014年以降増加傾向が続いているが、台湾は2016年は減少した。
- ◆ 近隣府県では、大阪府と奈良県は中国、兵庫県、福井県、滋賀県は台湾、鳥取県は韓国が最も多い。

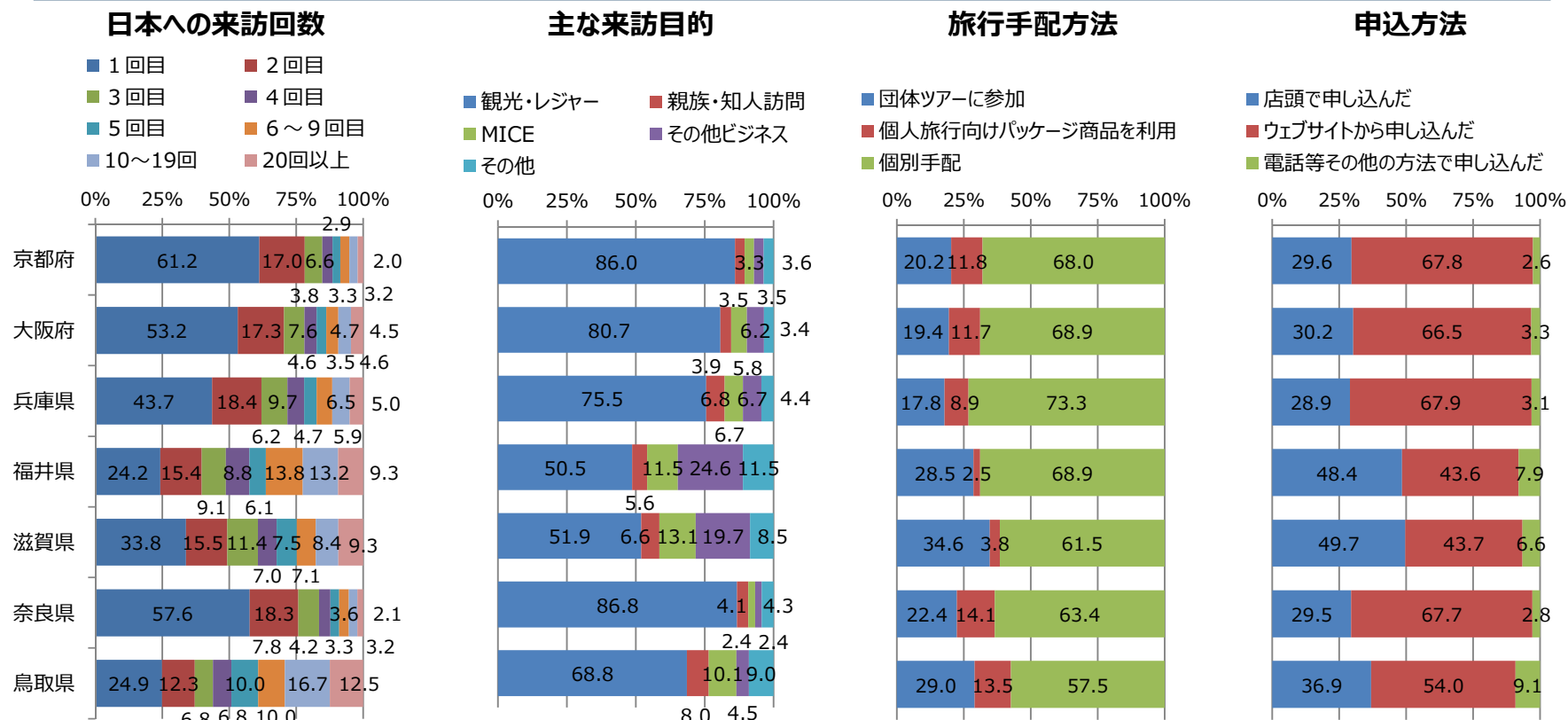
### 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数



※数値は2016年  
※イタリア、スペインは2015年から追加

## 京都府及び近隣府県のインバウンド概況（2）

- ◆ 京都府及び近隣府県を訪問した外国人の来日回数をみると、京都府、奈良県、大阪府は初来日が半数を超えるが、福井県、鳥取県、滋賀県は2回目以降のリピーターが多くなっている。
- ◆ 主な来訪目的は、全ての府県で「観光・レジャー」が最も多いが、奈良県、京都府、大阪府では8割以上を占めるのに対し、福井県と滋賀県では約半数にとどまり、ビジネス目的などでの来訪が多くなっている。
- ◆ 訪日旅行の手配方法は、全ての府県で「個別手配」が最も多いが、滋賀県、鳥取県、福井県は「団体ツアー」が3割程度と比較的多い。
- ◆ 申込方法は、滋賀県と福井県は「ウェブサイト」よりも「店頭」での申し込みが多くなっている。



※「MICE」は「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」、「その他ビジネス」は「研修」「その他ビジネス」、「その他」は「観光・レジャー」「親族・知人訪問」及び左記以外の計

## 海の京都観光圏 7市町の状況（要約）

（各市町データ詳細は別紙）

### ■ 7市町の状況

#### <観光客の動向>

- 全体に微増・増加傾向
- 宿泊客は宮津市、舞鶴市、福知山市で2割程度。他市町は1割以下

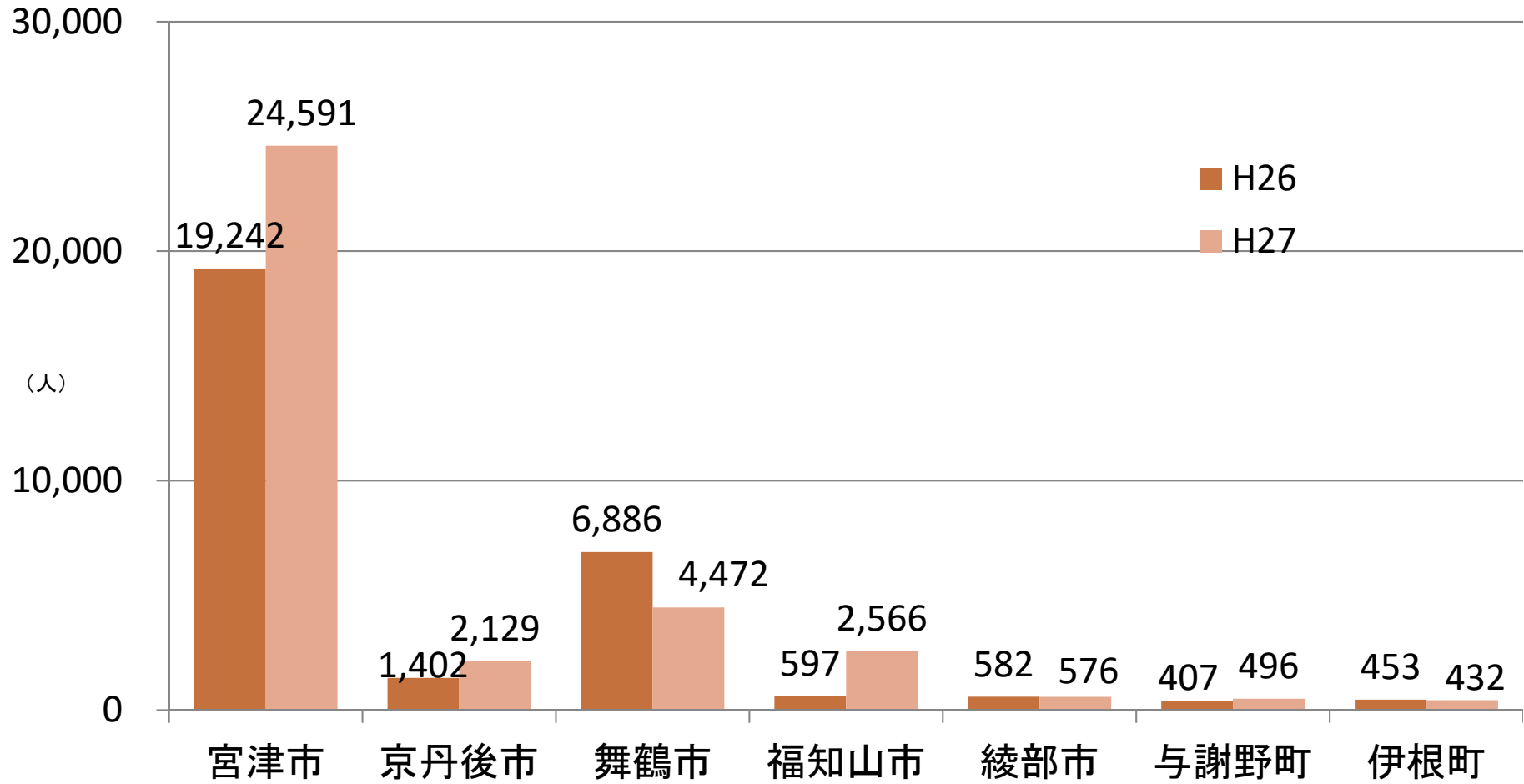
#### <主なマーケット>

- 大阪府、兵庫県からの顧客が多い
  - 関東は宮津市でも1割程度（観光圏・顧客満足度調査「天橋立」より）。
  - 利用交通機関は宮津市・・・公共交通機関、丹後半島・・・自家用車（観光圏・顧客満足度調査「天橋立」「夕日ヶ浦/久美浜」より）。
  - 宮津市、伊根町は8割が府外客。他市町は4～5割が府外客。
  - 舞鶴市は福井からの買い物（道の駅、赤れんがパーク等）。
- 外国人宿泊客数は、年間で宮津市で2万5千人弱（台湾、香港等）、舞鶴市で5千人弱（最大は中国）、平成27年は福知山市が2千5百人、京丹後市は2千人と大幅増（主に中国）
  - 他市町は綾部市、与謝野町、伊根町は600～400人泊程度。
- 各エリアで特徴のある来訪目的
  - 福知山市の歴史、綾部のスポーツ・レクリエーション（登山等）、与謝野町の行事・祭り、舞鶴市、伊根町の産業観光等。
  - 手織物、アート・工芸、酒、農漁産物、街並みといったイメージを訴求させることが必要。
- 全国区の自然・文化景観（天橋立）。再来訪意向は低い
  - 観光圏調査によれば認知度は、宮津・天橋立地区は全国的。網野・久美浜は全国の3割程度。
  - 丹後半島地域資源型旅行需要調査によると、関東居住者の来訪経験者数は3割（天の橋立含む、過去経験全て含む）。
  - 再来訪意向（ぜひまた行きたい）は他の観光圏地域と比べると低いのが課題。



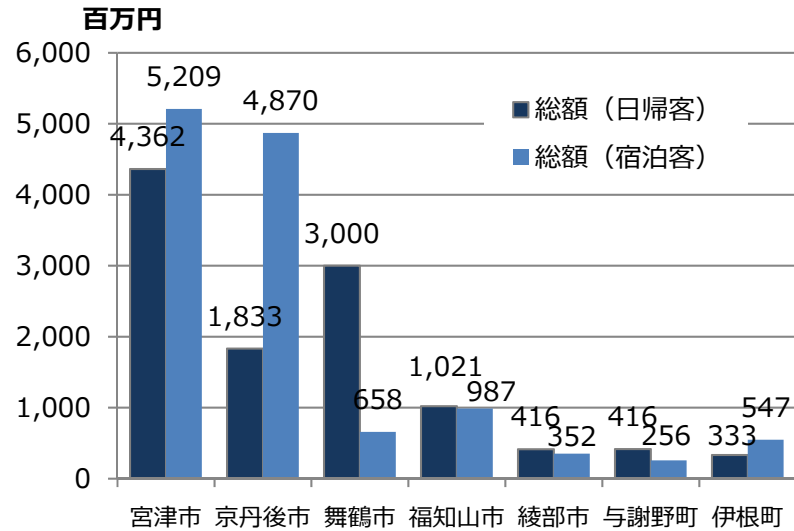
## 海の京都観光圏 7市町の状況

■ 宿泊客外国人数 (H26/H27)

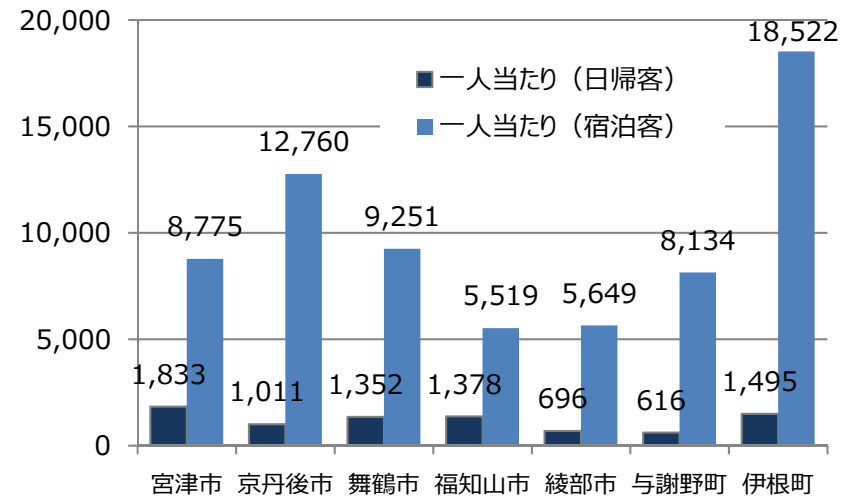


## 海の京都観光圏 7市町の状況

■ 入込消費額（宿泊・日帰り別総額）



■ 入込消費額（宿泊・日帰り別 一人当たり）



■ 月次入込客数推移

